

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

6項 防災費

防災チーム (内線: 7789)

1目 防災総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 気象情報細分化に伴う一斉指令システム改修等事業	2,383	0	2,383				2,383	
トータルコスト	4,869千円 (前年度0円)							
従事する職員数	正職員: 0.3人							
主な業務内容	鳥取地方気象台等との協議業務、協定書締結業務 設計・事業執行・発注業務、監督検査業務							

事業内容の説明

1 事業の概要

気象台から県へ送信されている気象情報(警報、注意報等)の発表地域区分及び送信データ形式変更に伴うシステム改修。

災害発生に備えて気象台と県の通信回線を複数ルート化する。

(1) 一斉指令システムの改修(平成22年度債務負担行為)

気象情報の発表地域の区分等が次のとおり変更される。

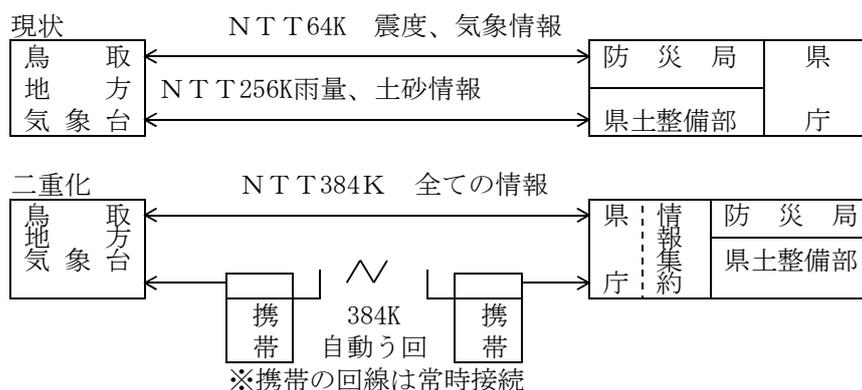
気象台からの情報(データ)を自動的に加工し必要な情報を関係市町等に一斉に伝達する。

現在の発表単位	県内5地区 (鳥取、八頭、倉吉、米子、日野)	かな漢字形式
H22年度出水期 (5月)~	市町村単位	かな漢字形式(詳細情報なし) XML形式※の電文 表形式の電文

※コンピュータで処理することにより、必要な情報を抜き出したり加工したりすることが容易にできるデータ形式

(2) 気象台とのバックアップ回線の整備(平成21年度歳出予算)

現状の通信回線は有線系(NTT回線)のみで地震等による断線の恐れがあるため、有線系と無線系による複数ルート化を行う。



2 事業費

区分	予算額	事業内容
気象台との回線二重化	2,383千円	機器整備費及び通信料

3 債務負担行為

期間	限度額	内容	摘要
平成22年度	27,830千円	一斉指令システムの改修	起債20,000千円